

セキュリティ製品の基礎と予算管理（基礎編）（4119347）

セキュリティ製品の基礎と予算管理（基礎編）

ーCASBやoffice365/BOXなどを含むセキュリティ対策と予算の勘所を掴む

本セミナーでは、セキュリティ製品やサービスの用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解し、どの分野のカテゴリに属するのか勘所を掴みます。また、クラウドにおける制限、オンプレミスとの併存の仕方を理解します。

開催日時	2019年12月16日(月) 10:00-17:00
カテゴリー	共通業務（契約管理、BCP、コンプライアンス、人的資産管理、人材育成、資産管理）・セキュリティ・システム監査 専門スキル
講師	石橋正彦 氏 (サイバー研究所 所長) ベリングポイント（現PwC）においてセキュリティ監査人/ベンチマークに従事。その後、ガートナーにてセキュリティ、BCP/DRのリサーチ業務に従事。ISOの審査員を経て、国内で最もISOを取得した企業（6規格統合運用）に在籍し、効率の良い 内部監査や従業員教育を実施。JUASでは研究会に12年在籍し、講師を6年に渡り実施。現在ではコンサルファームに所属。
参加費	J U A S 会員/ITC：33,000円 一般：42,000円（1名様あたり 消費税込み、テキスト込み）【受講権利枚数1枚】
会場	一般社団法人日本情報システム・ユーザー協会（日本橋堀留町2丁目ビル2階）
対象	情報システム部門のSE、コンサルタント 職務：営業/開発/管理部門 レベル：システムエンジニア初級 中級
開催形式	講義、グループ演習
定員	20名
取得ポイント	※ITC実践力ポイント対象のセミナーです。（2時間1ポイント）
特記	◆お願い：当日は自社のソフトウェア一覧等をご持参ください
ITCA認定番号	ITCC-CPJU9451
ITCA認定時間	6

主な内容

企業ではセキュリティ製品やサービスの提案を受けた際、類似製品や種類が多く、どの部分をカバーしている製品なのか判断できない場合があります。また、パブリック・クラウドで利用するクラウド・アクセス・セキュリティ・ブローカー（CASB）があり、オンプレミスとクラウド2つのセキュリティ対策の難易度が上がって来ています。

本セミナーでは、セキュリティ製品やサービスの用語と定義、効果（カバー領域）について基礎的な部分を理解し、どの分野のカテゴリに属するのか勘所を掴みます。また、クラウドにおける制限、オンプレミスとの併存の仕方を理解します。

さらに具体的にoffice365/Notes/ファイルサーバー/BOX等の基盤を例題にし、セキュリティ製品やサービスの組み合わせによる予算を試算することにより、総IT予算と総セキュリティ予算積み上げを実施します。

<内容>

◆お願い：当日は自社のソフトウェア一覧等をご持参ください

第1部

- ・本セミナー受講の前提条件
- ・セキュリティ製品やサービスの分類
- ・クラウド・セキュリティとCASBとは
- ・コミュニケーション基盤の現状とセキュリティ対策

（演習1）

各社のNotes/office365/BOX/ファイルサーバ等のコミュニケーション基盤の現状とセキュリティ対策を発表する

第2部 エンドポイント/ネットワーク・セキュリティ

- ・エンドポイント・セキュリティ（アンチウイルス/HDD暗号化/EDR）等の説明
- ・1世代目のファイアウォールと次世代ファイアウォール/UTMの説明
- ・IPSやサンドボックス等の説明
- ・メールに関するセキュリティ製品やサービス
- ・誤送信対策や、2ファイル目にパスワードを送付する日本人が好むセキュリティ

（演習2）

エンドポイント/ネットワーク製品の凡その組みあわせからセキュリティ予算を積み上げる

第3部 オンプレミスとクラウドをうまく住み分けるIAM

(アイデンティティ&アクセス管理)

- ・ IAM (特権ID管理、WAM/IdM) の分類と効果
- ・ ディレクトリ管理の勘所
- ・ 人事システムからディレクトリ、AzureADまでのプロビジョニング
- ・ システム連携 (フェデレーション、SAML/ADFS) の有効利用
- ・ オンプレミス (製品/オープンソースか) 、サービスか価格や予算の決め手
- ・ 一般的な犯罪捜査とIAMの有効性

(演習3)

個人情報保護法やGDPRを意識したディレクトリ管理

第4部 CASBで利用するアプリケーション・セキュリティとデータ・セキュリティ

- ・ アプリケーション・セキュリティ (脆弱性診断やペネトレーション・テスト) とは
- ・ データ・セキュリティ (暗号化とDRM、トークナイゼーションとは)
- ・ SOCは自前かサービスか

(演習4)

データ・セキュリティやパブリック・クラウドの災害対策 (情報漏洩) をシミュレーションし、パブリック・クラウドでは、セカンダリ・サイトが不要ではないかという討議

第5部 予算管理

- ・ 総IT予算と総セキュリティ予算の意味
- ・ 第1部~4部までの積み上げを実施
- ・ 類推型/統計型/積み上げ型/コンサルティング型でのセキュリティ製品選定とサービス選定の違い

(演習5)

積み上げ予算の算出

第6部

- ・ まとめ